

注3

大学番号：私279

[平成28年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

広島修道大学 人文学部 教育学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修道学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室総合企画課

職名・氏名 課長・栗原^{クリハラ}伸治^{シンジ}

電話番号 082-830-1102

（夜間） 082-830-1102

F A X 082-830-1324

e-mail kikaku@js.shudo-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・ 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・ 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・ 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・ 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・ 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	25
6. 留意事項等に対する履行状況等	63
7. その他全般的事項	64

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人修道学園

(2) 大学名

広島修道大学

(3) 大学の位置

〒731-3195
広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学長	(イチカワ タイチ) 市川 太一 (平成22年4月1日)	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)
学部長	(ミズノ カズホ) 水野 和穂 (平成28年4月1日)		
学科長等	(ササオ ショウジ) 笹尾 省二 (平成28年4月1日)	(マツザキ マサヒロ) 松崎 雅広 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合 (平成30年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 教育学科 学士 (教育学)	教育学・保育学 関係	4 年	100 人	- 年次 人	400 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 100 (-) [-]	人 () []	人 100 (-) [-]	人 () []	人 100 (-) [-]	人 () []	1.00倍	
志願者数	() []	() []	1,530 (-) [-]	- (-) [-]	1,263 (-) [-]	- (-) [-]	989 (1) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	1,505 (-) [-]	- (-) [-]	1,258 (-) [-]	- (-) [-]	982 (1) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	354 (-) [-]	- (-) [-]	313 (-) [-]	- (-) [-]	334 (1) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	97 (-) [-]	- (-) [-]	102 (-) [-]	- (-) [-]	103 (1) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			0.97		1.02		1.03			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	97 [0] (0)	- [-] (-)	102 [0] (0)	- [-] (-)	103 [0] (-)	- [-] (-)	※平成29年度2年次 他学部からの転部により 1名増		
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	98 [0] (0)	- [-] (-)	102 [0] (0)	- [-] (-)			
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)		98 [0] (0)	- [-] (-)
4年次							/			/	
計			- [-] (-)	97 [0] (0)	200 [0] (0)	303 [0] (0)					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	97 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	200 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	0 人	健康上の理由(1名)
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	303 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	98 人	0 人	
			平成29年度	102 人	0 人	
			平成30年度	103 人	0 人	
合 計	600 人	1 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{200} = \boxed{0.5} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{303} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

	授業科目の名称	履修単位数	単位数			専任教員等の配置						合計
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
保健体育科目	健康科学論	1・2後	2									2
	運動科学論	1・2後	2									1
	健康科学演習	1・2前	2									1
	運動科学演習	1・2後	2									1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2前	1			1						
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後	1									3
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1									2
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前	1									1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後	1				1					1
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前	1									2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2後	1									2
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後	1									1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1									1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後	1				1					2
	健康スポーツ実習(ボディーワーク)	1・2後	1				1					1
	健康スポーツ実習(Shudo AP)	1・2後	1									1
	健康スポーツ実習(ワダブリード・スボーツ)	1・2後	1				2					1
	運動スポーツ実習(7777777777)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1			1						
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前	1									2
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2後	1									2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前	1				1					2
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2後	1									2
運動スポーツ実習(ダンス)	1・2前	1			1							
運動スポーツ実習(テニス)	1・2後	1									2	
運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1									1	
運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2後	1									2	
運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2前	1									1	
運動スポーツ実習(ボディーワーク)	1・2前	1			1							
野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2前	1				1					2	
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2後	1									2	
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2前	1									1	
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2後	1									1	
人文学部総合科目	差別問題論	1前	2									1
	日本文化史Ⅰ	1・2前	2									1
	日本文化史Ⅱ	1・2後	2									1
	Media EnglishⅠ	2・3前	2									4
	Media EnglishⅡ	2・3後	2									4
	Business EnglishⅠ	2・3前	2									3
	Business EnglishⅡ	2・3後	2									3
	憲法Ⅰ	1・2前	2									2
	憲法Ⅱ	1・2後	2									2
	人文学部特別講義(プレゼンテーション論)	1・2前	1									1
	人文学部特別演習(論し手解説)	1・2前	2									1
	インターンシップ	2・3通	2			1						5
	専攻科目 演習科目群	教育学基礎演習	1前	2			5	3				
教育研究演習Ⅰ		2前	2			8	2					4
教育研究演習Ⅱ		2後	2			8	2					4
教育学演習Ⅰ		3前	2			8	2					4
教育学演習Ⅱ		3後	2			8	2					4
教育学演習Ⅲ		4前	2			8	2					4
教育学演習Ⅳ		4後	2			8	2					4
卒業研究		4通	4			8	2					4
専攻科目 専攻科目A群	教育原理	1前	2			1						
	教育制度論	1後	2									1
	人権教育論	1後	2									1
	教育哲学	2・3前	2			1						
	教育社会学	2・3前	2									1
	教育文化史	2・3前	2									
	教育史	2・3後	2			1						
	教育政策論	2・3前	2									1
	生涯学習論Ⅰ	1・2前	2			1						
	生涯学習論Ⅱ	1・2後	2			1						
	社会教育計画Ⅰ	1・2前	2			1						
	社会教育計画Ⅱ	1・2後	2			1						
	中等教育方法論	2・3前	2									1
初等教育方法論	2・3前	2									1	
幼児理解の方法	2・3後	2									1	
特別支援教育概論	2・3前	2			1							
重複・発達障害概論	2・3後	2			1							
専攻科目 専攻科目B群	教育学特論Ⅰ(教職就業研究)	3前	2				1					2
	教育学特論Ⅱ(初等・教科内容研究)	3後	2			2						
	教育学特論Ⅲ(中等・教科内容研究)	3後	2									1
	教育学特論Ⅳ(幼児・教科内容研究)	3後	2				2					
	教育学特論Ⅴ(体育実技指導研究)	2・3後	2									2
	教育学特論Ⅵ(ひろしまの教育)	2・3後	2			1	1					
	教育学特論Ⅶ(野外活動指導法)	2・3前	2			1						
	教育学特論Ⅷ(絵画表現)	2・3前	2				1					
	教育学特論Ⅸ(レクリエーション)	2・3前	1									1
	教育学特論Ⅹ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1				1					1
	教育学特論Ⅺ(音楽理論とピアノ実技)	2・3後	1				1					1
	教育学特論Ⅻ(発声法)	2・3前	1									1

	授業科目の名称	履修単位数	単位数			専任教員等の配置						合計
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
保健体育科目	健康科学論	1・2後	2									3
	運動科学論	1・2後	2									1
	健康科学演習	1・2前	2									1
	運動科学演習	1・2後	2									1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2前	1					1				
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後	1									2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1									1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前	1									1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後	1				1					2
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前	1									2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2後	1									3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後	1									1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1									1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後	1				1					1
	健康スポーツ実習(ボディーワーク)	1・2後	1									1
	健康スポーツ実習(Shudo AP)	1・2後	1									1
	健康スポーツ実習(ワダブリード・スボーツ)	1・2後	1				2					
	運動スポーツ実習(7777777777)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1									
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2後	1									2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前	1				1					1
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2後	1									2
運動スポーツ実習(ダンス)	1・2前	1										
運動スポーツ実習(テニス)	1・2後	1									3	
運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1									1	
運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2後	1									2	
運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2前	1									1	
運動スポーツ実習(ボディーワーク)	1・2前	1			1							
野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2前	1									2	
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2後	1									2	
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2前	1									1	
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2後	1									1	
人文学部総合科目	差別問題論	1前	2									1
	日本文化史Ⅰ	1・2前	2									1
	日本文化史Ⅱ	1・2後	2									1
	Media EnglishⅠ	2・3前	2									3
	Media EnglishⅡ	2・3後	2									3
	Business EnglishⅠ	2・3前	2									3
	Business EnglishⅡ	2・3後	2									3
	憲法Ⅰ	1・2前	2									2
	憲法Ⅱ	1・2後	2									2
	English CommunicationⅠ	1・2前	2									1
	English CommunicationⅡ	1・2後	2									1
	人文学部特別講義(プレゼンテーション論)	1・2前	2									1
	人文学部特別演習(論し手解説)	1・2前	2									1
人文学部特別演習(論し手解説・英中)	1・2後	2									1	
インターンシップ	2・3通	2			1						5	
長期インターンシップA	2・3通	4									1	
長期インターンシップB(英蘭語)	2・3通	8									1	
専攻科目 演習科目群	教育学基礎演習	1前	2			6	6					4
	教育研究演習Ⅰ	2前	2			6	6	4				3
	教育研究演習Ⅱ	2後	2			6	6	4				3
	教育学演習Ⅰ	3前	2			7	7	4				3
	教育学演習Ⅱ	3後	2			7	7	4				3
	教育学演習Ⅲ	4前	2			6	6	2				4
	教育学演習Ⅳ	4後	2			6	6	2				4
	卒業研究	4通	4			6	6	2				4
専攻科目 専攻科目A群	教育原理	1前	2						1			
	教育制度論	1後	2			</						

	授業科目の名称	配 単 位 数	単位数							専任教員等の配置									
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	専 任	准 専 任	講 師	助 教	助 手				
保健 体育 科目	健康科学論	1・2後	2															2	
	運動科学論	1・2後	2															1	
	健康科学演習	1・2前	2															1	
	運動科学演習	1・2後	2															1	
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2前	1					1											
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前	1															1	
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1															1	
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前	1															1	
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前	1						1									1	
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前	1															2	
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2前	1															3	
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後	1															1	
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1															1	
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後	1					1										1	
	健康スポーツ実習(ボディアーク)	1・2後	1					1										1	
	健康スポーツ実習(Shudo AP)	1・2後	1															1	
	健康スポーツ実習(アダブレード・スノーボード)	1・2後	1					2										1	
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2前	1															1	
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1					1										1	
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後	1															1	
運動スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1															2		
運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後	1					1										2		
運動スポーツ実習(卓球)	1・2前	1															2		
運動スポーツ実習(ダンス)	1・2前	1					1												
運動スポーツ実習(テニス)	1・2前	1															3		
運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1															1		
運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2前	1															2		
運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2前	1															1		
運動スポーツ実習(ボディアーク)	1・2前	1					1										1		
野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2前	1					1										2		
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2後	1															2		
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2前	1															1		
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2後	1															1		
人文学部 総合科目	差別問題論	1前	2															1	
	日本文化史Ⅰ	1・2前	2															1	
	日本文化史Ⅱ	1・2後	2															1	
	Media EnglishⅠ	2・3前	2															4	
	Media EnglishⅡ	2・3後	2															4	
	Business EnglishⅠ	2・3前	2															3	
	Business EnglishⅡ	2・3後	2															3	
	憲法Ⅰ	1・2前	2															2	
	憲法Ⅱ	1・2後	2															2	
	人文学部特別演習(プレゼンテーション論)	1・2前	2															1	
	人文学部特別演習(英し字検定)(本演習)	1・2前	2															1	
インターンシップ	2・3通	2				1											5		
専攻科目 演習科目群	教育学基礎演習	1前	2				4											3	
	教育研究演習Ⅰ	2前	2				8	2										4	
	教育研究演習Ⅱ	2後	2				8	2										4	
	教育学演習Ⅰ	3前	2				8	2										4	
	教育学演習Ⅱ	3後	2				8	2										4	
	教育学演習Ⅲ	4前	2				8	2										4	
	教育学演習Ⅳ	4後	2				8	2										4	
	卒業研究	4通	4				8	2										4	
	専攻科目 専攻科目A群	教育原理(初等)	1前	2				1											
		教育原理(中等)	1前	2				1											
		教育制度論(初等)	1後	2															1
教育制度論(中等)		1前	2															1	
人権教育論		1後	2															1	
教育哲学		2・3前	2				1												
教育社会学		2・3前	2															1	
教育文化史		2・3前	2				1												
教育史		2・3後	2				1												
教育政策論		2・3前	2															1	
生涯学習論Ⅰ		1・2前	2				1												
生涯学習論Ⅱ	1・2後	2				1													
社会教育計画Ⅰ(未開講)	1・2前	2				1													
社会教育計画Ⅱ(未開講)	1・2後	2				1													
中等教育方法論	2・3前	2															1		
初等教育方法論	2・3前	2															1		
初等教育方法論	2・3前	2															1		
幼児理解の方法	2・3後	2															1		
特別支援教育概論	2・3前	2				1													
重複・発達障害概論	2・3後	2				1													
専攻科目 専攻科目B群	教育学特論Ⅰ(教職教養研究)	3前	2					1										2	
	教育学特論Ⅱ(初等・教科内容研究)	3後	2				2												
	教育学特論Ⅲ(中等・教科内容研究)	3後	2															1	
	教育学特論Ⅳ(幼児・教科内容研究)	3後	2					2											
	教育学特論Ⅴ(体育実技指導研究)	2・3後	2															2	
	教育学特論Ⅵ(ひろしまの教育)	2・3後	2				1	1											
	教育学特論Ⅶ(野外活動指導法)	2・3前	2				1												
	教育学特論Ⅷ(絵画表現)	2・3前	2					1											
	教育学特論Ⅷ(レクリエーション)	2・3前	1															1	
	教育学特論Ⅸ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1						1									1	
	教育学特論Ⅹ(音楽理論とピアノ実技)	2・3後	1						1									1	
教育学特論Ⅹ(発声法)	2・3前	1						1									1		
社会教育演習	2・3前	2					1												

	授業科目の名称	配 単 位 数	単位数							専任教員等の配置								
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	専 任	准 専 任	講 師	助 教	助 手			
保健 体育 科目	健康科学論	1・2前	2															2
	運動科学論	1・2後	2															1
	健康科学演習	1・2前	2															1
	運動科学演習	1・2後	2															1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1					1										
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後	1															1
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1															1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前	1															1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前	1								1							1
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前	1															2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2前	1															3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2前	1															1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1															1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後	1					1										1
	健康スポーツ実習(ボディアーク)	1・2後	1					1										1
	健康スポーツ実習(Shudo AP)	1・2後	1															1
	健康スポーツ実習(アダブレード・スノーボード)	1・2後	1					2										1
	運動スポーツ実習(フットサル)	1・2前	1															

授業科目の名称	単位数	専任教員等の配置							
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
保育内容(身体的表現)	3後	2			1				1
乳児保育演習	2・3後	2							
障害児保育演習	2・3前	2			1				
社会的養護内容	3後	2						1	
保育相談支援	2・3後	2						1	
音楽表現技術Ⅰ	2・3前	2			1			1	
音楽表現技術Ⅱ	2・3後	2			1			1	
図画工作表現技術	2・3前	2			1				
体育表現技術	2・3前	2		1					
保育実習Ⅰ(保育所)	3通	2		1					
保育実習Ⅰ(施設)	3通	2		1					
保育実習Ⅱ(保育所)	3・4通	2		1					
保育実習Ⅲ(施設)	3・4通	2		1					
保育実習指導Ⅰ(保育所・施設)	3・4前	2		1					
保育実習指導Ⅱ(保育所)	4前	2		1					
保育実習指導Ⅲ(施設)	4前	2		1					
保育実践演習	4後	2		1					
知的障害者の心理・生理・病理	2・3後	2			2			1	
肢体不自由者の心理・生理・病理	2・3後	2			2			1	
病弱者の心理・生理・病理	3前	2						3	
知的障害教育学	2・3前	2			1				
知的障害指導法	2・3後	2			1				
肢体不自由の教育と指導	3前	2			1				
病弱者の教育と指導	3後	2						1	
特別支援教育課程論	2・3後	2		1					
視覚障害概論	3後	2						1	
聴覚障害概論	3後	2						1	
特別支援教育実習事前事後指導	4通	1		1					
特別支援教育実習	4通	2			1				
関連学 科 目									
心理学概論Ⅰ	1・2前	2							1
心理学概論Ⅱ	1・2後	2							1
ヒロシマ文化論Ⅰ	1・2前	2							1
ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後	2							1
社会心理学	1・2後	2							1
認知心理学	1・2前	2							1
発達心理学	1・2前	2							1
臨床心理学(未開講)	1・2前	2							1
知覚心理学	1・2前	2							1
生理心理学	1・2後	2							1
パーソナリティ心理学	1・2前	2							1
心理療法	2・3前	2							1
健康心理学(未開講)	1・2前	2							1
メディア論Ⅰ	1・2前	2							1
メディア論Ⅱ	1・2後	2							1
ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前	2							1
ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2							1
比較社会論	1・2前	2							1
共生社会論	1・2後	2							1
現代社会論A	2・3前	2							1
現代社会論B	2・3後	2							1
社会意識論A	2・3前	2							1
社会意識論B	2・3後	2							1
文化社会学A	2・3前	2							1
文化社会学B	2・3後	2							1
コミュニティ論A	2・3前	2							1
コミュニティ論B	2・3後	2							1
コミュニケーション論A	2・3前	2							1
コミュニケーション論B	2・3後	2							1
サブカルチャー論A	2・3前	2							1
サブカルチャー論B	2・3後	2							1
国際社会学A	2・3前	2							1
国際社会学B	2・3後	2							1
社会安全政策論	1・2前	2							2
公共政策論	1・2後	2							5

授業科目の名称	単位数	専任教員等の配置							
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
体育表現技術	2・3前	2			1				
保育実習Ⅰ(保育所)	3通	2			1				
保育実習Ⅰ(施設)	3通	2						1	
保育実習Ⅱ(保育所)	3・4通	2			1				
保育実習Ⅲ(施設)	3・4通	2						1	
保育実習指導Ⅰ(保育所・施設)	3前	2			1			1	
保育実習指導Ⅱ(保育所)	3・4前	2			1				
保育実習指導Ⅲ(施設)	3・4前	2						1	
保育実践演習	4後	2			1				
知的障害者の心理・生理・病理	2・3後	2						2	
肢体不自由者の心理・生理・病理	2・3後	2						2	
病弱者の心理・生理・病理	3前	2							
知的障害教育学	2・3前	2							
知的障害指導法	2・3後	2							
肢体不自由の教育と指導	3前	2						1	
病弱者の教育と指導	3後	2							
特別支援教育課程論	2・3後	2						1	
視覚障害概論	3後	2							1
聴覚障害概論	3後	2							1
特別支援教育実習事前事後指導	4通	1		1					
特別支援教育実習	4通	2						1	
関連科 目 群									
心理学概論Ⅰ	1・2前	2							1
心理学概論Ⅱ	1・2後	2							1
ヒロシマ文化論Ⅰ	1・2前	2							1
ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後	2							1
社会心理学	1・2前	2							1
認知心理学(未開講)	1・2前	2							1
発達心理学	1・2前	2							1
臨床心理学	1・2前	2							1
知覚心理学	1・2前	2							1
生理心理学	1・2後	2							1
パーソナリティ心理学(未開講)	1・2前	2							1
心理療法	2・3前	2							1
健康心理学	1・2前	2							1
メディア論Ⅰ	1・2前	2							1
メディア論Ⅱ	1・2後	2							1
ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前	2							1
ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2							1
比較社会論	1・2前	2							1
共生社会論	1・2後	2							1
現代社会論A	2・3前	2							1
現代社会論B	2・3後	2							1
社会意識論A	2・3前	2							1
社会意識論B	2・3後	2							1
文化社会学A	2・3前	2							1
文化社会学B	2・3後	2							1
コミュニティ論A	2・3前	2							1
コミュニティ論B	2・3後	2							1
コミュニケーション論A	2・3前	2							1
コミュニケーション論B	2・3後	2							1
サブカルチャー論A	2・3前	2							1
サブカルチャー論B	2・3後	2							1
国際社会学A	2・3前	2							1
国際社会学B	2・3後	2							1
社会安全政策論	1・2前	2							2
公共政策論	1・2後	2							5

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・ 全学共通科目、外国語科目英語科目における兼任数は、入学者数によるクラス編成数による変更。
- ・ 時間割調整により、「地理学」の担当者を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ 総合教養コースをオムニバス形式とするため、「世界の言語と文化」を「兼任1」から「兼任・兼任10」に変更。同様に「情報化社会と人間」を「兼任1」から「兼任3」に変更。
- ・ 保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。
- ・ 平成29年4月就任予定の教員を配置人数に含めていたため、「教育学基礎演習」を「教授5、准教授3」から「教授4」に修正。
- ・ 専攻科目のうち、教職課程に関する科目を文部科学省の指導により変更し、兼任の採用、担当者の再編を行った。「教育原理」⇒「教育原理（初等）」、「教育原理（中等）」、「教育制度論」⇒「教育制度論（初等）」、「教育制度論（中等）」、「教職入門」⇒「教職入門（初等）」、「教職入門（中等）」、「中等社会科教育法Ⅰ」⇒「中等社会科教育（地理歴史分野）」、「中等社会科教育法Ⅱ」⇒「中等社会科教育法（公民的分野）」、「中等生徒指導論」⇒「中等生徒・進路指導論」「初等生徒指導論」⇒「初等生徒・進路指導論」
- ・ 全学的な教職課程履修者の受講者対応のため、「現代経済入門Ⅰ」「現代経済入門Ⅱ」の担当者を「兼任1」から「兼任2」に変更。

【平成29年度】

- ・ 情報処理科目の見直しにより、情報処理科目の名称を「情報処理入門」から「情報処理入門Ⅰ」に、「情報処理入門Ⅱ」の詳細科目名を変更。併せて担当者の見直しを実施。
- ・ グローバル科目の再編により、担当者数を変更。
- ・ 留学生教育科目のうち、「日本研究」に詳細科目名を設定。
- ・ 留学支援教育科目に、留学先で取得した単位の認定科目として「海外研修A～E」を追加。
- ・ 国際共修科目について、詳細科目名を設定。
- ・ 教養科目の担当者の時間割編成により「西洋文学」「西洋史」「経済学」「総合教養講義a(家族と法)」「総合教養コース(情報化社会と人間)」の担当者数を変更。
- ・ 外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・ 初修外国語の上級クラスを充実させるため、ドイツ語、フランス語、スペイン語に上級科目を設置。それにより、クラス担当者数を変更。
- ・ 保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。

【平成30年度】

- ・ 担当者の退職、採用により、「修大基礎講座」の「教授2、准教授3、兼任1」から「教授1、准教授3、兼任2」に変更。同様に「初年次セミナー」が「教授8、准教授2」から「教授6、准教授5」に変更。
- ・ 少人数クラスにするため「情報処理入門Ⅰ」の担当者を「兼任2」から「兼任4」に変更。
- ・ 交換留学生のクラス充実のため「日本語Ⅱ」「日本語Ⅴ」「日本語Ⅷ」のクラスを増設、「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・ グローバルコース履修者への授業充実を図るため、「グローバル特講Ⅰ」を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ 兼任の退職により、「芸術学」「地理学」が「兼任1、兼任1」から「兼任1」に変更。
- ・ 兼任の採用により、「経済学」「教養講義」が「兼任2」から「兼任2、兼任1」に変更、教養講義（現代経済学）が「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ 科目担当者の時間割調整により、「総合教養コース（情報化社会と人間）」が「兼任4」から「兼任2」に変更。え r
- ・ 外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・ 保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。
- ・ 全学的な教職課程履修者の受講者対応のため、「現代経済入門Ⅰ」「現代経済入門Ⅱ」を「兼任2」から「兼任3」に「東洋史概論Ⅰ」を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ クラス再編、担当者の時間割調整により「Media English」を「兼任4」から「兼任3」に変更。
- ・ 派遣先を増設したことにより「インターンシップ」を「兼任4」から「兼任5」に変更。
- ・ 専任の退職、採用によりクラスを再編し、「演習科目」の「専任」「准教授」「兼任」の担当者数を変更。
- ・ オムニバス形式の科目に変更したことから「教育学特講Ⅳ（ひろしまの教育）」を「教授1、准教授1」から「教授4、准教授4」に変更。
- ・ 兼任教授から兼任講師への変更により「人間観の思想」を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 持ち時間数の調整により「知的障害教育学」「知的障害指導法」を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 兼任の退職により「公共政策論」を「兼任5」から「兼任4」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	426 科目	0 科目	448 科目	14 科目 [△8]	442 科目 [16]	0 科目 [0]	456 科目 [8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	総合教養講義b (生命情報論)	2	1・2	一般	選択	担当者が病氣療養中のため。
2	長期インターンシップB	8	2・3	一般	選択	計画中のため。
3	グローバル特講IV	1	3	一般	選択	対象となる履修者がいないため、次年度以降開講予定。
4	発達心理学	2	1・2	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
5	臨床心理学概論	2	1・2	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
6	現代社会論A	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
7	現代社会論B	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
8	社会意識論A	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
9	社会意識論B	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
10	文化社会学A	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
11	文化社会学B	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
12	親密性の社会学	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
13	表象文化論	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
14	コミュニケーション論A	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
15	コミュニケーション論B	2	2・3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
16	広島学(広島県の経済構造)	2	3	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
17	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2	2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
18	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2	一般	選択	担当者の退職により、次年度開講予定。
19	教養講義(ドイツ文学)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
20	教養講義(社会と政治)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
21	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	総合教養講義a(近現代の美学)	2	1・2	一般	選択	全学的な教養科目の見直しにより科目削除。
2	総合教養講義a(現代社会と会計)	2	1・2	一般	選択	全学的な教養科目の見直しにより科目削除。
3	情報処理基礎(プレゼンテーション)	2	1・2前・後	一般	選択	全学的なカリキュラム改正に伴う科目の廃止。
4	教養講義(西欧近代史)	2	1・2後	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
5	総合教養講義a(環境経営入門)	2	1・2前	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
6	総合教養講義a(生活保障論)	2	1・2後	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
7	総合教養講義a(自然環境と災害)	2	1・2前	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
8	アドバンスト英語(Japanese Film)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
9	アドバンスト英語(Cross Cultural Communication)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
10	アドバンスト英語(Contract Bridge and Card Game Culture)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
11	アドバンスト英語(Aspects of Japanese Language and Society)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
12	アドバンスト英語(Japanese Studies)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
13	アドバンスト英語(Video Gaming from East to West)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
14	健康スポーツ実習(ボディアワーク)	1	1・2後	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
15	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1	1・2後	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
16	運動スポーツ実習(ダンス)	1	1・2前	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
17	人文学部特別演習(崩し字解説)	2	1・2前	専門	選択	教育効果を考慮し、当初開講予定であった当該科目を「平仮名」「漢字」の2科目に分けて開講することとしたため。

18	中等教育方法論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育方法論を新設。
19	初等教育方法論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育方法論を新設。
20	教育心理学Ⅱ	2	2・3後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育心理学を新設。
21	中等社会科教育法Ⅰ	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。中等社会科教育法Bを新設。
22	中等社会科教育法Ⅱ	2	3後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。中等社会科教育法演習Bを新設。
23	社会科・地理歴史科教育法	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。社会科・地理歴史科教育法Bを新設。
24	社会科・公民科教育法	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。社会科・公民科教育法Bを新設。
25	中等道德教育論	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。道德教育論を新設。
26	中等特別活動論	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。特別活動論を新設。
27	中等生徒・進路指導論	2	2前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。生徒・進路指導論を新設。
28	中等教育相談	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育相談を新設。
29	教職実践演習(中・高)	2	4後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教職実践演習(幼・小・中・高)を新設。
30	教職実践演習(幼・小)	2	4後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教職実践演習(幼・小・中・高)を新設。
31	教育心理学Ⅰ	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育心理学を新設。
32	初等道德教育論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。道德教育論を新設。
33	初等教育相談	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育相談を新設。
34	初等生徒・進路指導論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。生徒・進路指導論を新設。
35	初等特別活動論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。特別活動論を新設。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通科目の教養科目については、詳細付の科目であり、担当者によって変遷する。
また、地域イノベーションコースの見直しにより、一部は国際コミュニティ学部地域行政学科の科目として開設され、聴講が認められる予定。
専門科目については、隔年開講であり、次年度開講される予定。
学生への周知は、シラバスの配当表をホームページに掲載しているほか、ガイダンスにおいても履修に際しての注意事項として喚起している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{56}{448} = \boxed{12.5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地に校舎を 建築したことによる。 (29)			
	校舎敷地	36,805㎡ 34,865㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡ 34,865㎡				
	運動場用地	101,957㎡ 103,897㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡ 103,897㎡				
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡				
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡				
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建築計画と登記上の 誤差による。(29)			
		70,640㎡ 70,930㎡ (65,955㎡) (66,180㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	70,640㎡ 70,930㎡ (65,955㎡) (66,180㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	98室 97室	演 習 室 17室	実験実習室 65室 48室	情報処理学習施設 18室 (補助職員 一人)	語学学習施設 7室 8室 (補助職員 一人)	大学全体 校舎を建築したこと による。(29)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人文学部教育学科			13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の数に修正 (29) 実績に基づき変更 (30)	
	教育学科	880,849[235,914] 874,652[236,827] 66,681[18,431] 67,913[18,431] (870,349[234,634]) (849,122[232,467]) (41,142[11,358]) (41,935[11,539])	5,876[2,554] 5,663[2,500] 430[237] 427[232] (5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (276[152]) (274[149])	13,227[13,167] 12,918[12,298] 889[885] (13,227[13,167]) (12,918[12,298]) (572[570])	23,542 22,730 1,728 1,693 (23,372) (22,390) (1,087) (1,064)	()	()		
	計	880,849[235,914] 874,652[236,827] 66,681[18,431] 67,913[18,431] (870,349[234,634]) (849,122[232,467]) (41,142[11,358]) (41,935[11,539])	5,876[2,554] 5,663[2,500] 430[237] 427[232] (5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (276[152]) (274[149])	13,227[13,167] 12,918[12,298] 889[885] (13,227[13,167]) (12,918[12,298]) (572[570])	23,542 22,730 1,728 1,693 (23,372) (22,390) (1,087) (1,064)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 増席(29)			
	11,700㎡	952 948		1,200,000					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	8,871㎡	屋内プール 1面	野球場 1面	陸上競技場 1面	アーチェリー場 1面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子 ジャーナル・デー タベース整備費(運用 コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	8,154千円 6,108千円	6,754千円 8,047千円	12,372千円	
	共同研究費等	0千円 1,000千円	1,000千円	設備購入費	9,424千円 9,440千円	9,999千円 18,340千円	16,679千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,250千円	第2年次 1,030千円	第3年次 1,030千円	第4年次 1,030千円	第5年次 一千円	第6年次 一千円	開設年度事業終了に 伴う執行額確定のため。 (29)	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	広島修道大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
商学部										
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10	昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号		
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13	昭和38年度	同上		
経済科学部										
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.12	平成9年度	同上		
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.11	平成9年度	同上		
人文学部										
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上		
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上		平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.24	昭和48年度	同上		
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和48年度	同上		平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.00	平成28年度	同上		
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.17	昭和48年度	同上		
法学部										
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.10	昭和51年度	同上		
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—	平成2年度	同上		平成30年より 学生募集停止
人間環境学部										
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.12	平成14年度	同上		
健康科学部										
心理学科	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.05	平成29年度	同上		
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.03	平成29年度	同上		
国際コミュニティ学部										
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.12	平成30年度	同上		
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年度	同上		
商学研究科										
商学専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.18	昭和46年度	同上		
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.00	昭和48年度	同上		
経営学専攻										
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.62	昭和52年度	同上		
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00	昭和52年度	同上		
経済科学研究科										
現代経済システム専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上		
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00	平成15年度	同上		

経済情報専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00	平成15年度	同上	
人文科学研究科									
心理学専攻									
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.60	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.50	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.10	昭和59年度	同上	
英文学専攻									
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.40	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上	
法学研究科									
法律学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.00	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.25	平成6年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

6 留意事項等に対する履行状況等

<人文学部 教育学科>

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年6月)	鈴峯女子短期大学食物栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	鈴峯女子短期大学食物栄養学科について、平成28年学生募集を停止することとした。(28)	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人文学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>広島修道大学FD・SD規定に基づき、全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。各学部、研究科については、それぞれFD推進委員会を組織している。教育学科が所属する人文学部にも、人文学部FD推進委員会が設置されている。また、教育学科は、教育内容、教育方法等の改善を図るために、教育学科会議を開催し、必要に応じてFD活動を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p><大学運営会議></p> <p>学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。平成30年度も4月16日の大学運営会議の議題「平成30年度研修計画について」で平成29年度の研修実施実績報告と平成30年度の研修計画が承認された。</p> <p><人文学部FD推進委員会></p> <p>年に2回以上開催。人文学部専任教員及び学部担当教務職員が参加する。</p> <p><教育学科会議></p> <p>毎月定例で開催。教育学科担当教員すべてが参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p><大学運営会議></p> <ol style="list-style-type: none">1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること3. その他FD及びSDの推進に関すること <p><人文学部FD推進委員会></p> <ol style="list-style-type: none">1. カリキュラム・授業科目の構成について2. 授業科目のシラバス・授業計画の内容について3. 授業の方法について4. 履修指導について5. 厳正で客観的な成績評価方法について6. 成績評価結果の告知方法について7. 進級制度及び進級認定について8. 最終試験及び卒業認定について9. 授業アンケートについて10. その他必要な事項について
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>全学では、教員の資質向上のために、大学改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目指したFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目指した組織的な公開授業等を行っている。人文学部では、カリキュラム、成績評価、授業の方法等について研修会を行っている。また、教育学科では、定例会議とは別に、年に一度、教育学科の研究会を開催し、外部から講師を招聘して、その折々の学科の抱える課題を解決する一助にしている。</p> <p>b 実施方法</p> <p>すべての教員が参加しやすいように、定例教授会の前後に開催するようにしている。例えば、FD・SD研修会は定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行う。人文学部FD推進委員会や教育学科会議も定例教授会の終了後に連続して開催している。また、FD・SD研修会では、大学を構成する各部局がその取り組みを共有できるように報告者を工夫したり、人文学部では研修テーマについて各学科、専攻が事前に各取り組みを整理するなどして、それぞれの研修の目的を達成できるように努力している。</p>

- 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

・FD・SD研修会

年3～4回開催。平成30年度は、現時点で、第1回「私立大学等経常費補助金について(仮題)」(6月13日)、第2回「修大カフォーラム(予定)」(8月3日)、第3回「テーマは調整中」(10月10日)の開催が決定している。平成29年度は以下の通りであった。

第1回「第二期認証評価からの7年間を振りかえって」

(6月14日開催 参加者数：教員134名、職員74名)

第2回「修道カフォーラム—点検・評価にみる広島修道大学」

(8月4日開催 参加者数：教員142名、職員125名)

第3回「ICTを活用した授業実践報告」「FD推進ワークショップ参加報告」

(11月22日開催 参加者数：教員130名、職員77名)

・教育力アップセミナー(新任教員対象)

平成29年度

「広島修道大学の教育課題—学びの道を整える大学として—」

「学び方の個性を知る—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

「違いから学ぼう—広島修道大学の抱える教育課題の解決に向けて—」

(8月25日開催 参加者数：教員9名、職員11名)

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。平成30年度は5月22日から6月20日までを公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成29年度は、100名の教員が167クラスで公開授業を実施し、延べ144名の教員が参加をして授業研究を行った。

〈人文学部〉

平成29年度のFD推進委員会のテーマは以下の通りであった。

第1回 「転部・転科・転専攻の選考方法について」(7月12日開催 参加者数：37名)

第2回 「第3期認証評価について」(10月11日開催 参加者数：33名)

〈教育学科〉

平成30年度のFD研修会の予定は、「データから見た教育学科の現状と教育的課題」として、例年、実施している1年生、2年生、3年生、4年生の時系列的SA成績データと卒業生の小学校採用試験合格とSA成績データとのクロス分析結果の比較及び教育学科1年生、2年生のGPAの動向を見据えて、今後の学生指導の在り方を検討することとしている。

また、教育学科完成年度以降のカリキュラム改革についてのFD研修も展開していく。研究会講師については現在選定中である。

平成29年度の教育学科研究会(11月20日)では、平成30年度着任予定の1名の教員を講師として、「教育の主体としての地域コミュニティづくり—被差別部落における地域保護者組織の役割に着目して—」についての研修を行った。参加者は15名であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFDでは、参加後のアンケートを通して、今回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。人文学部FDでは、研修結果を各学科、専攻の会議にフィードバックするよう努めている。また、教育学科のFDは、まさに日々の教育に直結する内容ばかりであり、各教員が自らの教育指導に反映させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回(前期・後期)定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成29年度は通年で369名の教員が実施し(専任教員の実施率は99.5%)、一人あたりの平均実施科目数は3.25科目であった。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、本人のみならず学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表(学部単位の実施者数および率)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学科は、端的に言えば、6-3-3-4制の多様化や柔軟化、幼児教育の質の向上、特別支援教育の充実などの今日の社会的要請に応え、・社会の幅広い教育的ニーズに対応できる教育者の育成、・個性的・自律的な教育者の養成、・他者や多様な環境に配慮できるコミュニケーション能力を備えた教育者の育成、・生涯にわたって研究と修養に励むことのできる教育力を備えた教育者の養成を目的としている。特に、意味のある2種類の資格及び免許状の取得を奨励し、2年次からは、初等教育コース、学校教育コース、教育科学コースに分かれる。教育学科のこれらの設置趣旨・目的や2年次からのコース内容については、教学センターガイダンス、教職課程ガイダンス、教育学科教員ガイダンス、教育学基礎科目等で折に触れて、しっかりと学生に認識させ、履修指導を行ってきた。この結果、16年度生(一期生)は初等教育コース33名、学校教育コース39名、教育科学コース26名で、17年度生(二期生)は初等教育コース40名、学校教育コース34名、教育科学コース28名となり、バランスのとれたコース制を維持している。また、16年度生(一期生)の資格・免許希望者は、保育士20名、幼稚園33名、小学校54名、中学校41名、高校24名、特別支援教育学校24名で、17年度生(二期生)の資格・免許希望者は、保育士26名、幼稚園39名、小学校49名、中学校55名、高校27名、特別支援教育学校16名であった。

また、16年度生(一期生)97名の成績はSA平均2.64、17年度生(二期生)102名の成績はSA平均2.53であり、ともに学科の教育目標に沿った教育に向けて良好な滑り出しができていていると考えている。さらに、18年度入試でも、定員100名に対して全入試制度で1,263名が志願し、103名が入学した。この結果からも、引き続き、教育学科の設置趣旨、教育目的等を十分理解し、興味を持った学生が入学してきたと確信している。これからも、教育学科の設置趣旨・目的を達成するために編成されたカリキュラムを確実に履行しながら、教育上も研究上も関係教員が絶えず協働していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年8月1日 公表

b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』(1993年～)、『広島修道大学白書』(1999年度～)、『広島修道大学の現況』(2009年度～)として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。本年平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受けることとしている。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(2018年7月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。